

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 横須賀市政記者クラブ
- 令和5年8月29日同時配布

国総研 研究報告第71号 『ブートストラップ法を用いた高潮・高波の偶然的 不確実性の評価』を刊行します

気象等のランダム性に伴う高潮および高波の偶然的な不確実性を評価するためには、十分な期間の観測値や非常に多くのケースの数値解析を必要とするため、膨大なコスト等を要します。そこで、本研究では、リサンプリング手法の1つであるブートストラップ法を用いて、高潮および高波の偶然的な不確実性の評価手法を提案するとともに、本提案手法の適用可能性が高いことを示しました。

本提案手法は、現在手元にあるデータを最大限に活用することで、確率潮位偏差および確率波高の推定誤差を評価するための標本抽出に関する作業コストの軽減及び作業時間の短縮を図ることができます。さらに、本提案手法は、高潮および高波の観測データおよび数値解析結果のいずれにおいても適用可能であることから、非常に汎用性が高く今後の活用が期待できます。

<目次>

1. まえがき
2. ブートストラップ法による高潮・高波の不確実性評価
3. 提案手法の適用性の検証
4. まとめ
5. あとがき

付録A：提案手法の適用性の検証に当たって実施した高潮推算及び波浪推算の計算条件

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/kh0071.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾・沿岸防災研究室
室長 本多 和彦 (内線：3220)
TEL：046-844-5019 E-mail：ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp

